

<感想> ブラジル・サンパウロにて 7 月 8 日～13 日に開催される「The 10th WORLD CONGRESS ON COMPUTATIONAL MECHANICS (WCCM 2012)」に参加しました。同学会は数値計算全般を対象としたもので、私は「Parallel computation for fluid-structure thermal interactions with multiphase modeling」という題目で、熱作用を含む流体-構造連成を対象とした並列計算手法の口頭発表を行いました。質疑応答には苦戦しましたが、発表は概ね成功したと思います。学会には日本人の方もいたので交流することができました。プレナリー発表では、中央大学の檜山先生による津波の発表を聞くことができ、大変勉強になりました。

初めての海外出張だったので、ビザの取得や、片道 24 時間以上の移動、サンパウロ市内の治安など色々と懸念していましたが、無事に帰ってこれましたのでここに報告いたします。